

中国の消費市場を取り込め!!

世界中の投資を集め「世界の工場」として高い成長率により世界経済を牽引してきた中国。しかし、近年では人件費の高騰や法規制の不透明さから工場の撤退やASEAN諸国への再投資など中国経済に対し、ネガティブな声が多く聞こえます。第2位の経済大国となった中国と今後どのように向き合っていくべきか、今回は中国市場に焦点を当てます。

転換期の中国

2001年のWTO(世界貿易機関)への加盟をきっかけに、中国は規制緩和や市場開放を大幅に進め、GDP成長率において2011年まで二桁の伸びを続けていたものの、2013年に7.7%まで落ち込み、「新常态(ニューノーマル)」に入ったといわれています。しかし、成長速度が落ちたとはいえ、2013年のGDPの増加分だけでもインドネシアやオランダ、トルコなど1国のGDPを上回るほどの巨大な経済規模を誇っています。現在、その経済成長を下支えしているのが、人口13億人以上の内需・消費市場です。

高まる消費力

1人あたりのGRP(域内総生産)が1万ドルを超えた中国の都市数は2007年の2都市から2013年には60都市に拡大し、それらの都市の総人口としては3億3,756万人になります。生活水準が向上し、娯楽・文化・教育のほか、医療・福祉・介護への支出拡大が加速しています。一方、農村部ではパソコンやカメラなどの普及率はまだ低く、自動車においては日本の6分の1にとどまっており、依然として成長の余地があるといえます。

高齢者大国の中国

一人っ子政策などの要因で急速に高齢化が進む中国では、65歳以上の高齢者は1億3,700万人(2014年)に達し、2045年には4億人になると予想されています。特に、都市部においては伝統的な家庭内扶養機能が低下しているため、政府も養老・福祉サービス部門への民間資本の導入を奨励するなど、積極的な高齢化施策を打ち出しています。専門的なノウハウ・知識が不足している中国政府・企業からは、日本式介護への期待が高く、今後、日本企業においては介護サービスやその周辺施設・商品などのビジネスチャンスの増大が見込まれています。



6/17開催「中国ビジネスの最新動向セミナー」で中国市場に関心を寄せる多くの参加者



中国 介護施設での様子

ごあんない

ジェットロでは急速に高齢化が進む中国における高齢者サービスに関連する政策動向、統計情報、産業動向、企業動向に関する情報を「中国高齢者産業ニュースレター」としてメール配信しています。詳しくは、ジェットロWEBサイトもしくはジェットロ京都までお問合せください。



【問合せ先】
日本貿易振興機構(JETRO)
京都貿易情報センター

JETRO

所在地/〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
京都リサーチパーク2号館2階
TEL/075-325-5703 FAX/075-325-5706
E-mail/KYO@jetro.go.jp
URL/http://www.jetro.go.jp/indexj.html